

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	伝熱小委員会	主 査 名：永田 明寛 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：尾崎 明仁
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築の伝熱問題に関わる研究開発・性能検証・評価。 ・初年度：4WG を中心に、各分野における研究課題を収集し、研究の方向性を見定めると共に、成果を問うために、熱シンポジウムの企画を始める。 2年度：4WG を中心に、各分野における研究課題を収集し、研究を推進すると共に、熱シンポジウムを開催する。 3年度：4WG を中心に、各分野における研究課題を収集し、研究を更に推進する。 4年度：4WG を中心に、各分野における研究課題を収集し、研究を一層推進すると共に、研究成果を取りまとめる。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：永田明寛 (首都大学東京) 幹事：菊田弘輝 (北海道大学), 中山哲士 (岡山理科大学) 委員：石野久彌 (首都大学東京), 一ノ瀬雅之 (首都大学東京), 奥山博康 (神奈川大学), 木下泰斗 (日本板硝子), 郡公子 (宇都宮大学), 宿谷昌則 (東京都市大学), 田中英紀 (名古屋大学), 萩原伸治 (建材試験センター), 三坂育正 (日本工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	1) 建材熱性能 WG (部位や建材レベルでの熱性能等の評価方法構築) 2) 熱性能同定 WG (住宅等で実態の熱損失係数等を現場測定する方法を再考) 3) 熱環境設計 WG (熱環境に関連する建築・設備システムの設計法・実測評価) 4) 建築・都市熱環境 WG (建築伝熱の立場から都市熱環境との相互影響を議論)	
2016 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s13/index.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無し
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 46 回熱シンポジウム『新しい時代の熱環境デザイン～測定とシミュレーションによる設計・評価～』 資料名： 参加者数 92 名
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初計画通り、各分野の研究課題を収集し、研究を推進できた。また、研究成果の一部を、第 46 回熱シンポジウムにおいて公表することができた。
委員会活動の問題点 ・課題	HP の更新が滞っている。

2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価) 最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2016 年度は、熱環境小委員会との合同委員会を 3 回開催 (4 回目を 3/7 に開催予定) し建築・都市の伝熱・熱環境について多角的に議論した。今年度の議題は下記のとおりである。</p> <p>カーテンウォール熱貫流率計算法の開発に関する検討 住宅の伝熱と換気と気密性の現場測定法の理論と実験 パッシブ換気住宅における薪ストーブを用いた全室暖房時のエクセルギー評価 尿尿分離式コンポストトイレの性能検証及び堆肥化モデルの検討 建築用真空断熱材の熱性能評価方法の検討 すだじこども園の環境・省エネルギー設計と性能評価 空気式太陽熱システムを採用した実証住宅に関する研究 真空断熱材の長期耐久性試験方法に関する検討 水冷ベンチを用いた暑熱環境緩和に関する研究</p> <p>また、10/22～23 に熱環境シミュレーション小委員会と合同で熱シンポジウムを岡山理科大学において開催し 92 名の参加を得た。</p> <p>当初の活動計画を概ね満たす成果が得られたため、A 評価とした。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。